

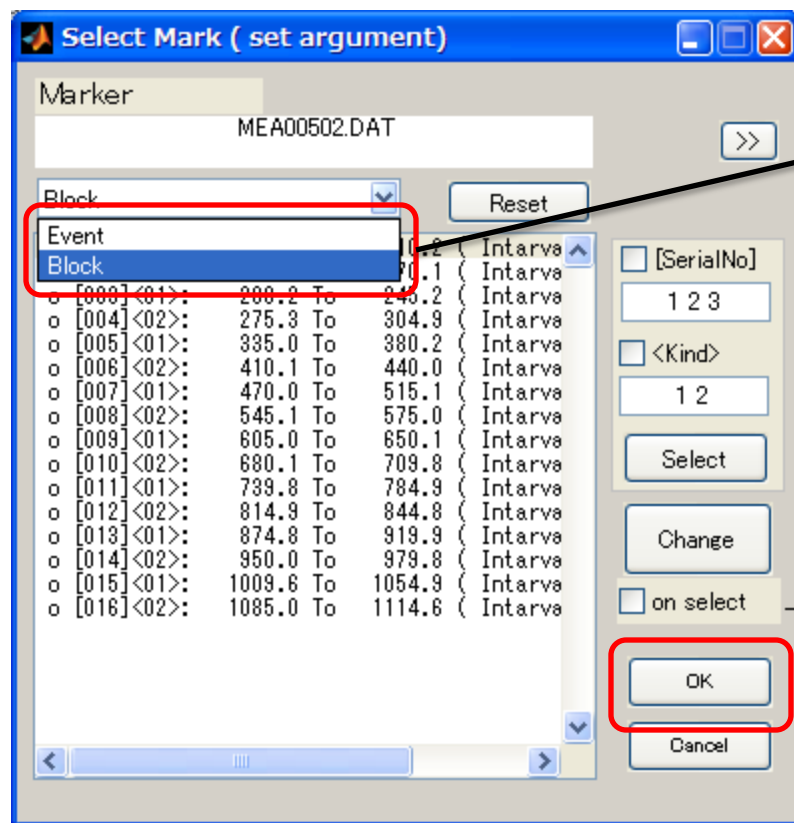
マーカー無しで計測したデータに
マーカーを追加する方法
～Mark ADD～



フィルタ関数

- Mark ADD
 - Mark CLEAR
 - Mark Edit
- を使います。

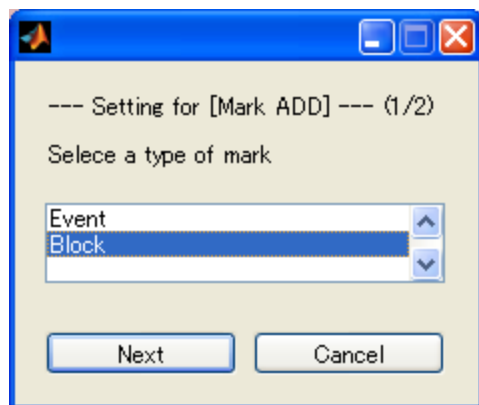
まず、「Mark Edit」を追加し、



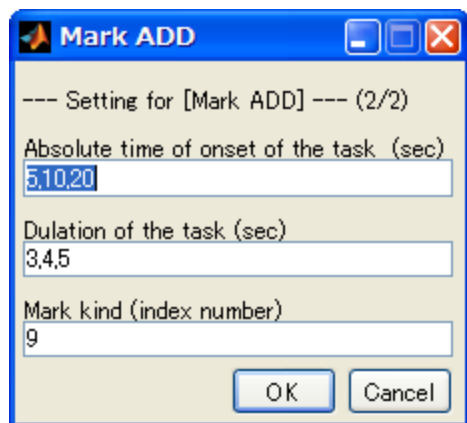
マーカーのモードを設定し、
OKボタンを押します。

次に、「Mark CLEAR」を追加し、
余計なマーカーをすべて消去しておきます。（設定は何もありません。）

そして、「Mark ADD」を追加し、
新しいマーカーを設定します。



追加すると、このような設定画面が出るので、
マーカーのモードを選択します。
（Mark Editで設定したものと同じにしてください）
「Next」ボタンを押します。



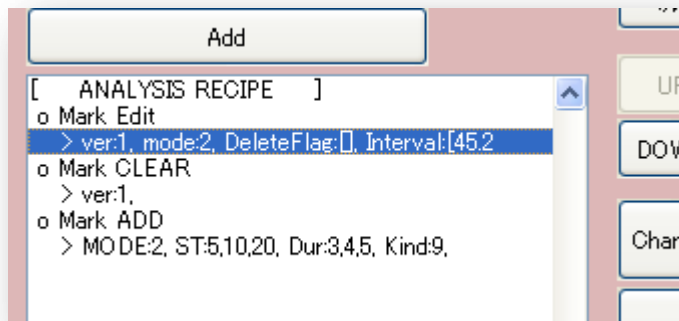
次に、この画面が出ます。

1段目にはマーカの開始時刻(秒)を入力します。
ここで複数のマーカを同時に設定する場合は、
「,(カンマ)」で区切って入力します。
(例では、5,10,20となっています)

2段目には、マーカの継続期間(秒)を入力します。
(例では、1段目の3つのマーカに対し、それぞれ3秒、4秒、5秒の
Dulationを設定しています。)
ここで、複数のマーカに対し、同じ値を設定する場合には、
3,3,3と入力する代わりに、3を一つだけ入力すると、自動的に
それぞれのマーカに同じ値が設定されます。

3段目にはマーカの種別番号を入力します。
(ETGでのA,B,C,...は、種別番号では1, 2, 3, ...に対応します。)
例では、9とだけ入力されているので、3つのマーカすべてに対し、
9が設定されます。

以上でマーカの追加は完了です。



今回の例では、
Recipeはこのようになります。